

【防災情報】 災害対策支援情報(第1報)

仙台河川国道事務所では、前線に伴う降雨により、宮城県仙台市から排水ポンプ車の派遣要請があったことから、令和2年7月28日19時30分に排水ポンプ車を派遣しました。

これに伴い、仙台河川国道事務所では、災害対策支援支部(注意体制)を設置しました。

1. 派遣先等

■ 派遣先 みやぎけん せんだいし たいはく ぶくろぼら 宮城県仙台市太白区袋原 地内

なとり がわすいけいざるがわ ざるがわ ひもん ふきん
名取川水系筑川(筑川樋門付近)

■ 派遣台数 排水ポンプ車 1台

2. 仙台河川国道事務所の体制

災害対策支援支部 **注意体制** 令和2年7月28日(火) 19時30分

※災害対策支援支部設置基準 注意体制
・応急復旧資機材及び通信機器等のみを支援している場合。

〈発表記者会:宮城県政記者会、東北専門記者会〉

お問い合わせ先



国土交通省

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
TEL 022(248)4131(代表)

副所長(河川管理)

地域防災調整官

さいとう まさみち

齊藤 正道 (内線204)

にしかわ ふみたか

西川 文隆 (内線304)

【参考】仙台河川国道事務所 災害対策支部体制状況

令和2年7月28日(火)19時30分現在における仙台河川国道事務所の災害対策支部の体制は以下のとおりです。

注意体制	警戒体制	非常体制
河川 令和2年7月28日(火) 13時40分	河川 令和2年7月28日(火) 16時20分	河川
道路 令和2年7月28日(火) 14時40分	道路	道路
海岸	海岸	海岸
支援 令和2年7月28日(火) 19時30分	支援	支援

注意体制: 国道48号の作並除雪ステーション雨量観測所において、連続雨量80mmを超えたため
宮城県仙台市の要請により、排水ポンプ車を派遣したため

警戒体制: 名取川の名取橋水位観測所において、はん濫注意水位6.50mを超えたため

非常体制:

緊急排水

街を人を守れ



東日本大震災での活動

はいすい ぼんぷ しゃ
排水ポンプ車

30m³/min水中モータ式



H25 低気圧降雨 山形県戸沢村 蔵岡地区

<目的> 洪水などの浸水被害に対して、排水作業を緊急に行う車両です。

<特長> ・ 毎分30m³の排水できます。

【排水高さ（揚程10m）毎分7.5m³のポンプ×4台】

・ ポンプは、1台約35kgの重量のため、人力による運搬・投入が可能です。

◆排水ポンプ車諸元

導入年度	平成23年度
排水ポンプ仕様	水中モータ駆動
吐出量(ポンプ1台当たり)	7.5m ³ /min
口径	200mm
揚程	10m
台数	4台
最大吐出量(ポンプ4台合計)	30m ³ /min
モータ出力	18kW
ポンプ質量	約35kg/台
発動発電機	440V 125KVA
車両総重量	9,500kg
車両寸法	L8.43m × W2.37m × H3.07m

・ 標準的な小学校の25mプールを約10分で空に出来ます。



排水作業イメージ図